

北海道食の輸出拡大戦略推進状況報告書の概要(平成29年)

平成30年4月3日
北海道

1 輸出の現状(品目別の動向等)

○道産食品の輸出実績 平成29年通年(1~12月) 674億円(前年から28億円(4%)減)

	H27年 通年	H28年 通年	H29年 通年	H29年通年 対前年増減額(前年比)	
				増減額	主な増減品目輸出額(前年同期増減額)
水産物 水産加工品	689	586	536	△49億円(92%)	ホタテガイ 326億円(△60億円) ナマコ 114億円(+12億円) その他 96億円(△0.5億円)
農畜産物 農畜産加工品	38	42	37	△5億円(88%)	ながいも 15億円(△3億円) たまねぎ 4億円(△5億円) ミルク・クリーム 9億円(+2億円)
その他加工食品	46	75	101	+27億円(135%)	菓子類 81億円(+26億円) 水・清涼飲料水 2億円(+0.9億円) 麺類 2億円(+0.3億円)
合計	773	702	674	△28億円(96%)	

注)「増減額」は千円単位で計算。端数処理の関係で差し引き、合計が一致しない場合がある。

2 平成29年度の主な取組

生産・製造

- ・ホタテガイの生産の早期回復と安定化に向けた取組
- ・相手国の輸出要件対応のため、輸出向け施設の整備等の支援 など

物流・商流

- ・鮮度保持技術やテストマーケティングなど輸出商品の多様化に向けた取組
- ・小口混載等の効率的な輸送体制づくり
- ・航空路線を活用し商流と物流が一体となった販路開拓 など

販売

- ・海外拠点や関係機関を活用した、継続的・安定的な販路の拡大支援
- ・品目・地域横断による商談会の開催や産業間の連携強化
- ・新市場の需要開拓を図るため商談会やPRを実施 など

3 道内の主な動き

企業等の状況

- ・新千歳空港で国際貨物機の常時受入体制を整備
- ・道総研が米菓の賞味期限を2倍に延ばせる新製法を開発
- ・道内企業2社が輸出に取り組む優良事業者表彰において農林水産大臣賞等を受賞

地域の状況

- ・マレーシアで開催した物産展において、サンマ・サバ加工品などが好評を得た
- ・グローバルG.A.P.取得が功を奏しオランダへたまねぎを輸出
- ・道内地域商社がロシアの郵便局に道産食品を輸出

国の状況

- ・9月に台湾向け日本産牛肉の輸出解禁

4 施策展開の方向

一次産品の安定生産と輸出対応力の向上

- ・ホタテガイの生産の回復と安定化
- ・輸出相手先から求められる規制等への対応
- ・食産業の国際競争力強化

輸出に取り組む事業者等の裾野の拡大と輸出先国、輸出品目の多様化

- ・企業等の海外展開の円滑化
- ・海外展開に取り組む事業者の拡大
- ・輸出先国、輸出品目の拡大
- ・輸出商品の多様化

効率的な物流網の構築及びこれと一体となった販路開拓

- ・道内と海外を結ぶコールドチェーンの構築
- ・効率的な輸送体制づくり
- ・商流と物流が一体となった販路拡大
- ・継続的・安定的な販路の拡大

北海道ブランドの効果的な浸透

- ・地域産品の認知度向上・ブランド構築
- ・食の北海道ブランドの浸透
- ・産業間の連携強化
- ・新市場の開拓
- ・ブランド保護

※ 連携・推進体制

- ・ASEAN事務所やどさんこプラザなど海外拠点の強化とそのノウハウやネットワークの効果的な活用
- ・道産食品輸出拡大戦略推進会議などの枠組を活用したオール北海道の連携の強化